

販促カレンダー<5月> 皐月

31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木
				福岡宮崎宮さつき大祭(28日)		東京五條天神社例大祭 東京湯島天満宮例大祭(28日)					本願寺宗祖降誕会(21日)	奈良唐招提寺つちわまき、福井三國祭・山形酒田まつり(21日)	東京浅草三社祭(16日)	沖縄本土復帰記念日(18日)	奈良興福寺新御能(17日)、小満、静岡伊豆下田黒船祭(18日)	沖縄本土復帰記念日	島根出雲大社大祭礼(16日)			母の日、岐阜長良川鵜飼開き	茨城笠間稲荷御田植祭、東京下谷神社祭(13日)、東京神田祭(14日)		世界赤十字デー			●こどもの日、立夏、神奈川国府祭	●みどりの日	●憲法記念日、福岡博多どんたく(4日)	奈良東大寺聖武天皇祭、山口下関海峡祭(4日)	メーデー、八十八夜、富山高岡御車山祭

欧米にはなぜ

寝たきり老人がいないのか

ヨーロッパの福祉大国であるデンマークやスウェーデンには、いわゆる寝たきり老人はいないと、どの福祉関係の本にも書かれています。他の国ではどうなのかと思ひ、学会の招請講演で来日したイギリス、アメリカ、オーストラリアの医師をつかまえて聞くと、「自分の国でも寝たきり老人はほとんどいない」とのことでした。一方、我が国のいわゆる老人病院には、一言も話せない、胃ろう(口を介さず、胃に栄養剤を直接入れるため、腹部に空けた穴)が作られた寝たきりの老人がたくさんいます。

不思議でした。日本の医療水準は決して低くありません。むしろ優れているといっても良いくらいです。ではなぜ、外国には寝たきり老人はいないのか? 答えはスウェーデンで見つかりました。今から5年前になりますが、認知症を専門にしている家内に引き連れられて、認知症専門医のアニカ・タクマン先生にストックホルム近郊の病院や老人介護施設を見学させていただきました。予想通り、寝たきり老人は1人もいませんでした。胃ろうの患者もいません。

その理由は、高齢であるいは、がんなどで終末期を迎えたら、口から食べられなくなるのは当たり前で、胃ろうや点滴などの人工栄養で延命を図ることは非倫理的であると、国民みんなが認識しているからでした。逆に、そんなことをするのは老人虐待という考え方さえあるそうです。ですから日本のように、高齢で口から食べられなくなったからといって胃ろうは作りませんし、点滴もしません。肺炎を起こしても抗生剤の注射もしません。内服投与のみです。したがって両手を拘束する必要もありません。つまり、多くの患者さんは、寝たきりになる前に亡くなっていました。寝たきり老人がいないのは当然でした。

さて、欧米が良いのか、日本が良いのかは、わかりません。しかし、全くものも言えず、関節も固まって寝返りすら打てない、そして、胃ろうを外さないように両手を拘束されている高齢の認知症患者を目の前にすると、人間の尊厳について考えざるを得ません。家内と私は「将来、原因がなんであれ、終末期になり、口から食べられなくなったとき、胃ろうを含む人工栄養などの延命処置は一切希望しない」を書面にしかつ、子供達にもその旨をしつかりと伝えています。(宮本顕二)

マスコミ通信

国際経営株式会社
KOKUSAIKEIEI co.,ltd2025 年
5 月号ヨミドクター記事アーカイブ
(宮本顕二)

大阪府議会でも可決 ATM前での 高齢者の通話禁止を義務化

2025年3月24日 朝日新聞

ATM前で高齢者の携帯電話での通話を禁止に。大阪府議会が24日、こうした内容を盛り込んだ全国初の条例改正案を全会一致で可決した。相次ぐ特殊詐欺の被害を食い止めることがねらいで、8月から順次施行される。

条例改正では、ATM前で65歳以上の高齢者の携帯電話での通話を禁止し、銀行などの金融機関には啓発のポスター掲示といった措置を講じることが義務づけられている。また、特殊詐欺の恐れがある取引を確認した場合の金融機関からの通報を義務化するほか、70歳以上の高齢者が府内で開設している口座のうち、過去3年間にATMから振り込みを行っていない口座について、振り込み上限額を1日あたり10万円以下に引き下げることが義務とされる。さらに、プリペイド型電子マネーを悪用した詐欺の手口が多く発生していることから、コ

ンビニなどの販売店舗は一度の会計が5万円を超える場合に詐欺の恐れがないかどうかを確認することなども義務づけた。府によると、こうした対策を「義務」として定めた条例はない。いずれも罰則規定はないが、これまでより踏み込んだ対策で防犯意識を浸透させていきたいと考えた。今回の条例改正の背景には、深刻な詐欺被害の状況がある。2024年の府内の詐欺被害件数(速報値)は被害件数2658件、被害総額約63億8275万円であり、いずれも過去最高を更新。被害にあった人の約70%が65歳以上の高齢者だった。単純計算で1日あたり1700万円余りがだまし取られており、府は条例改正に向けた検討を進めていた。

多々発生していることから、コ



生命保険で葬儀代金 支払いも可能

相続財産の多くが不動産や預貯金で、現金が手元にならない場合、様々な支払いに困ることがあります。そんなときに活用できるのが「生命保険による資金調達」。請求から早い段階で受け取れるため、相続発生直後の資金不足を補う手段として有効です。

被相続人を被保険者、相続人を保険金受取人として終身保険に加入すると、被相続人の死亡時に相続人は死亡保険金を受け取ることができます。死亡保険金は、請求書類が保険会社に着した翌日から、5営業日程度で受け取ることができます。

生命保険金は受取人固有の財産なので、他の相続人の同意を得る必要はなく、遺産分割協議の終了を待つ必要もない。この特徴を活かして、相続人は現金を手にすることができ、葬儀費用や未払い医療費などに充当することができます。

2025年2月28日
ファイナンシャルフィールド

島根の空港利用促進に「火葬」都会の火葬場不足費用 高騰に着目

益田商議所地域開発委員会(島根県)が、萩・石見空港羽田便の利用促進プランコンテストの最優秀賞に、火葬場が不足する都市部の困り事を解決する「地方火葬」のプランを選んだ。

地元、高津川葬祭社の有田学取締役が提案。東京23区は火葬場不足によって2〜3週間の待ちが発生し、遺体の防腐処理費用などで料金が高騰していることに着目した。

羽田便で遺体を空輸し、萩・石見空港周辺の火葬場を利用すれば待ちはなく、全体費用も抑えられる利点を強調。火葬に立ち会う遺族の搭乗を見込み、宿泊や観光とセットのプランを設けることで利用者は2028年に月56人(28組)を目指す計画を掲げた。

商工会議所から賞状と賞金を受け取った有田氏は「プランを通じて利用者を増やし、地方と都市部がウィンウィンとなる関係を実現したい」と意気込んだ。

2025年3月27日 山陰中央新報

墓じまい急増 その先にある「再火葬」

お墓じまいが急増する中、墓を撤去した後の遺骨には大きな問題があります。「再火葬」という言葉をご存じでしょうか？ 改葬の際に、納骨堂や合葬墓の受け入れ条件として、再火葬を求められるケースが増えています。

これは、お墓に納骨後、時間経過により骨壺内に結露が溜まり遺骨が濡れてしまっていることから、遺骨を乾燥させる目的もあります。新たな納骨先の受け入れ条件に適應するために行われています。

再火葬が必要となる理由は①乾燥していない遺骨は受け入れ不可②骨壺の大きさなど、様々な基準を設けている納骨施設が増えた③土葬されていた遺骨を納骨堂などへ移骨する際に改めて火葬が必要などで再火葬が必要になるケースが増えています。

2025年3月4日
PR TIME(S) (有限会社 縁)
僧侶との意見交換・研修会開催
記事より抜粋・編集

率先励行 葬儀会館の取組み

自宅全焼の葬儀社の男性 山火事で焼失した遺影を無償提供<岩手県大船渡市>

大船渡市三陸町綾里で葬儀会社「総合葬祭米沢」を家族で経営する米沢優希さん。経営する2つの葬儀場のうち綾里地区の施設は東日本大震災で津波が押し寄せ半壊。それでも復旧し地区で唯一の葬儀場として地域とともに歩んできました。米沢さんは2024年8月に第一子となる長男が誕生し、家族への思いを強くするなか2025年2月、山林火災が発生しました。米沢さん「この地域自体がなくなってしまうのではないかと、うくらの炎の勢い」自宅は避難指示の対象になったため、安全な地域にある葬儀場の一室で1週間あまり寝泊まりをしました。

避難指示が解除され12日ぶりに帰宅すると自宅は全焼し骨組みさえ残っていませんでした。米沢さん「がれきの中に鉄でできている仏具が形がぎりぎり分かるくらい状態で大残っていました」火災で大切な先祖代々の遺影も失いました。地区では火災で遺影が焼けてしまった住宅も多くありました。総合葬祭米沢では約20年前までの顔写真データが残っているというので、要望があれば遺影を復元して無償で提供することにしています。米沢さん「写真のデータを探して復元できれば印刷をして額に納めた状態でご家族にお返ししたい。心のよりどころが失われないように」。

ふるさとを愛する米沢さんの恩返しです。米沢さん「生まれ育って良かったと思えるような地域を残していきたい。自宅をどこに再建できるかは分からないが、この地域とずっと関わってできれば住み続けたい」代々受け継いできたのは自然とこの地域を大好きになる優しい町づくり。思いの強い土地で明るい未来を見据えます。

2025年4月5日
岩手めんこいテレビ

愛しのオスカルが 葬儀社の宣伝大使に

企業ブランディングをマング・アニメIP（知的財産）の力で支援する目的で株式会社シンフィールドにより発足した「社会を良くする企業応援プロジェクト」。このプロジェクトの公式アンバサダーとなった株式会社セレモニー（埼玉県）は、1972年に連載を開始し、その圧倒的な人気で一大ブームを巻き起こした池田理代子氏の『ベルサイユのばら』に登場するアントワネットを宣伝大使としてHP上で会館の案内などを展開しています。これから施主となる世代に向け「愛しのオスカル宣伝大使に」「フェルゼンの秘策」「ロザリーの心配事」「館内見学」など、魅力的なコンテンツとしてサイトを牽引しています。

株式会社セレモニー
HP掲載内容から編集

スポーツで地域交流

株式会社セレモ（三重県）は、スポーツ振興を目的として、スポーツを楽しみ、成長できる環境づくりに取り組んでいます。

能登半島地震復興チャリティー野球教室

12月10日プロ野球の現役スカウトの方が志摩にいらつしやって、空き時間を利用して地元少年野球チームの子供たちを指導してくださいました。子供たちは熱心に指導を聞き、みるみる上達しているように見えました。

バレエボール教室

1月13・14日にゴッソ石島バレエボール教室が開催されました。第3回となる今回は旧二見中学校体育館と、志摩市にある阿児アリーナの2か所で開催。元日本代表である石島選手の指導を受け楽しそうにプレーしていました。

セレモの家族葬 HPより

相続は
背中と言わず
声にして
(30代 男性 空松かじき)



相続
後回し
子や孫にまで
のしかかる
(30代 女性 30代 メロ)



財産は
ないから揉めぬと
威張る父
(60代 男性 置楽)



親子で相続を考える会
(遺産相続コンシェルジュ
掲載) 第6回相続川柳の
受賞作品です。

相続川柳

語り愛

カレンダー

●五月のご命日●

「故人様と同じ日に、
こんな方がお亡くなりになっています…」
そんな一言をきっかけに、
傷心の喪主様へ、さりげないいたわりのお声がけを。

一日 (木) 平成六年(一九九四年)

アイルトン・セナ(F1ドライバー)

「音速の貴公子」の異名で有名なF1ドライバー。八十年代から九十年代前半のF1を代表するドライバーの一人。

二日 (金) 友引 平成二十一年(二〇〇九年)

忌野 清志郎(ミュージシャン)

RCサクセションを筆頭に、多くのバンドを率いソウル・ブルースを下地にしたロックサウンドを展開した。

三日 (土) 昭和三十六年(一九六一年)

柳 宗悦(思想家・美学者)

生活に即した民芸品に注目して「用の美」を唱え民藝運動を起こした思想家。民藝の普及につとめ日本民藝館を創設した。

四日 (日) 昭和五十八年(一九八三年)

寺山 修司(詩人・劇作家)

「下町の錬金術師」の異名をとり、詩人、歌人、劇作家、映画監督、小説家、俳優、写真家など幅広く活動した。

五日 (月) 明治三十三年(一九〇〇年)

イヴァン・アイヴァゾフスキー(画家)

おびただしい数の風景画を残したロシアの画家。その大半が海をモチーフにしており、海洋画家の代表的存在として知られる。

六日 (火) 平成十八年(二〇〇六年)

萱野 茂(アイヌ文化研究者)

アイヌ文化、およびアイヌ語の保存・継承のために活動を続けた研究者。自らもアイヌ民族で、アイヌ初の国会議員としても活動した。

七日 (水) 文政八年(一八二五年)

アントニオ・サリエリ(作曲家)

ローマ皇帝・オーストリア皇帝に仕える宮廷楽長としてヨーロッパ楽壇の頂点にいた人物であり、ベートーヴェンらを育てた名教育家。

八日 (木) 友引 明治三十六年(一九〇三年)

ポール・ゴーギャン(画家)

フランスのポスト印象派の最も重要かつ独創的な画家の一人。「黄色い家」でのゴッホと共同生活でも有名。

九日 (金) 文化二年(一八〇五年)

フリードリヒ・シラー(劇作家)

ゲーテと並ぶ古典主義を代表する劇作家、詩人。詩は非常に精緻でありかつ優美であるといわれ、「ドイツ詩の handbook」とされている。

十日 (土) 嘉永二年(一八四九年)

葛飾 北斎(浮世絵師)

『富嶽三十六景』や『北斎漫画』等で知られる浮世絵師。後にゴッホなどの印象派の芸術家や工芸家、音楽家にも影響を与えた。

十一日 (日) 平成二十一年(二〇〇九年)

三木 たかし(作曲家)

石川さゆりの『津軽海峡・冬景色』や『それいけ!アンパンマン』のオープニングテーマ曲の作曲家として有名。

十二日 (月) 平成二十八年(二〇一六年)

蜷川 幸雄(演出家・映画監督)

日本を代表する演出家。海外でも評価が高く、「世界のニナガワ」と呼ばれた。2010年には文化勲章を受章した。

十三日 (火) 昭和五年(一九三〇年)

田山 花袋(小説家)

『蒲団』や『田舎教師』などの作品で知られる島崎藤村と並ぶ自然主義派の代表的な作家。

十四日 (水) 友引 明治十一年(一八七八年)

大久保 利道(武士・政治家)

明治維新の元勳であり、西郷隆盛、木戸孝允と並んで「維新の三傑」と称される。維新後も政府の中核として日本の近代化に貢献した。

十五日 (木) 平成元年(一九八九年)

井深 八重(看護婦)

ハンセン病患者の看護に、生涯を尽くした看護婦。その活動は国際的に高く評価され、ナイイチンゲール記章を受賞した。

十六日 (金) 平成二十三年 (二〇一一年)

児玉 清 (俳優・司会者)

多くの映画やテレビドラマに出演したほか、クイズ番組「アタック25」の司会を三十六年にわたり務め、人気を博した。

十七日 (土) 文化十五年 (二八〇八年)

伊能 忠敬 (測量家)

十七年をかけて全国を測量し『大日本沿海輿地全図』を完成させ、日本史上はじめて国土の正確な姿を明らかにした。

十八日 (日) 文化五年 (二八〇八年)

エライジャ・クレイグ (牧師)

バーボン・ウイスキーを最初に製造したと伝えられており、「バーボンの父」として知られている。

十九日 (月) 昭和十年 (一九三五年)

トーマス・E・ロレンス (軍人・考古学者)

オスマン帝国に対するアラブ人の反乱を支援した人物で、映画『アラビアのロレンス』の主人公のモデルとして知られる。

二十日 (火) 昭和五十二年 (一九七六年)

萩原 井泉水 (俳人)

新傾向俳句機関誌「層雲」を主宰。無定型自由律俳句を唱えて俳壇に大きな影響を与えた。門下には種田山頭火や尾崎放哉らがいた。

二十一日 (水) 昭和三年 (一九二八年)

野口 英世 (細菌学者)

細菌学の研究に主に従事。黄熱病や梅毒等の研究で知られ、数々の論文を発表した。

二十二日 (木) 明治三十七年 (一九〇四年)

上野 彦馬 (写真家)

幕末期から明治時代にかけて活動した日本における最初の写真家で、日本最初の戦場カメラマン。

二十三日 (金) 平成十九年 (二〇〇七年)

熊井 啓 (映画監督)

多くの作品が「キネマ旬報」ベスト・テンに選出され、ベルリン国際映画祭等の各賞を受賞した、日本を代表する社会派映画の巨匠。

二十四日 (土) 昭和四十六年 (一九七一年)

平塚らいてう (思想家・作家)

大正から昭和にかけて「婦人参政権」の獲得に奔走したことで知られる女性解放運動・婦人運動の指導者。

二十五日 (日) 昭和九年 (一九三四年)

グスターヴ・ホルスト (作曲家)

イギリスを代表する作曲家の一人。管弦楽のために書かれた『惑星』が有名であるが、全般的に合唱のための曲を多く遺している。

二十六日 (月) 明治十年 (一八七七年)

木戸 孝允 (武士・政治家)

幕末期に桂小五郎として知られていた尊王攘夷派の中心人物で「維新の三傑」の一人。明治天皇からの信頼も厚かった。

二十七日 (火) 平成四年 (一九九二年)

長谷川 町子 (漫画家)

日本初の女性プロ漫画家として知られる。代表作に『サザエさん』『いじわるばあさん』等。

二十八日 (水) 平成四年 (一九九二年)

藤村 富美男 (プロ野球選手)

タイガースの黎明期を支えた、プロ野球創成期を代表する伝説の強打者。初代「ミスタータイガース」。

二十九日 (木) 昭和十七年 (一九四二年)

与謝野 晶子 (歌人・思想家)

情熱的な作品が多いと評される歌集『みだれ髪』や日露戦争の時に歌った『君死にたまふことなかれ』が有名な歌人。

三十日 (金) 昭和九年 (一九三四年)

東郷 平八郎 (軍人)

日本海軍の司令官として日清及び日露戦争の勝利に大きく貢献し、日本の国際的地位を「五大国」の一員とするまでに引き上げた。

三十一日 (土) 応永十五年 (二〇〇八年)

足利 義満 (室町幕府第三代将軍)

南北朝の合一を果たし、幕府権力を確立。金閣寺を建立して北山文化を開花させるなど室町時代の政治、経済、文化の最盛期を築いた。

さい銭頼み脱却へ 若手神職あの手この手

主な収入源が限られて
いる各地の神社で、若手
神職が境内での飲食店の
開業や海洋散骨のフラン
チャイズ展開など、新た
なビジネスに参入する動
きが広がっている。神社
を後世に残すため、従来
の枠にとらわれない斬新
なアイデアで収益向上を
図っている。(佐藤陽)

巫女がイラストレー ターに

1661年に建立され
た福島八幡宮(福岡県)
の宮司・吉開雄基さん(3
0)が先代の父の跡を継
いだのは約8年前。当時
の収入は、正月の三が日
のさい銭が中心の年30
0万円程度で、神社の維
持費を差し引くと、手元
に残るのはわずかだった。
そこで御朱印用のイラ
ストデザインをつくり、

SNSなどでPRすると
徐々に人が集まるように。
現在は、独自のキャラク
ターなどを描いた御朱印
のインターネット通販も
人気だ。参拝客も昨年
約10万人まで増えた。

当初、母と2人で切り盛
りしていた神社は現在、
巫女ら40人ほどを雇う。
今年1月には境内の実家
を改装して茶屋をつくり、
神様への供物でつくった
食事の提供を始めた。

海洋散骨と神道式葬儀 を組み合わせ

関門海峡を望む和布刈
(めかり)神社(福岡県)
で欄干ねぎを務める高瀬
和信さん(39)も新た
な収益源を開拓した。2
022年、遺骨を海にま
いて供養する海洋散骨に
神道式の葬儀などを組み
合わせ、生前に受け付け

る「終活プラン」の事業会
社を設立。フランチャイズ
で全国の神社に参画を募つ
たところ、青森、福岡県な
どの5神社が加盟し、24
年の収入は1億5000万
円に上った。

以前の収入は正月のさい
銭やお守り代で年500万
円程度だった。父や先代の
祖父は古物商やコチョコウラ
ンの生産者を兼ねていた
が、高瀬さんは神社に関連
する事業を選んだ。従来は
宗教とビジネスを結びつけ
ることに抵抗感を示す神職
も多かったが、「自立して存
続するには経営的な視点が
欠かせない」と力を込める。

全国の神社は23年末で
約7万8000社。ただ、
神職は約2万人にとどま
り、亡くなるなどした場合、
近隣の宮司が神社の管理を
引き継ぐ場合が多い。中に
は1人で数十社を担うケー
スもあり、収入源の確保は
喫緊の課題となっている。

2025年4月17日
読売新聞オンライン

運転中のスマホ使用を推奨？ 葬儀場の看板広告に込められた狙いとは

カナダの高速道路脇
に「TEXT AND
DRIVE」と記した看
板があります。訳する
と「運転中にスマホをお
使いください」という
メッセージ。看板の下部
を見ると、「WATHAN
FUNERAL HOME」
と架空の葬儀場の名前
が書かれています。こ
の看板は、カナダ・モ
ントリオールの広告代
理店 John St. と
Cieslok Media
が製作したもの。同社は
「ドライバーは日々『ドラ
イブ中のスマホ操作はや
めましょう』という広告
を見聞きしているはずで
すが、事故の数は増加の
一途です。そこで、逆転の
発想にたどり着きまし
た」と語ります。

架空の葬儀場のウェブ
サイトでは、「ようこそ。
あなたがここへ来たとい



2020年4月13日更新
ハフポスト日本版

ほつりタイム お葬儀面白エピソード

④ 祖父のお葬式で、受付を
していたときに一人のお年
寄りがヨロヨロと来られ、
「葬儀社の方はどちらにい
らっしゃいますか」と尋ね
られました。あちらに、と
答えると「あのお私、今は
まだ生きてますが、近々こ
ちらにお世話になると思っ
たので、葬儀社の方に
色々伺いたいと思って参り
ました。お葬式の最中にお
邪魔してすみません。ここ
らの亡くなられた方とは全
然面識がないのですが、こ
れもなにかのご縁ですの
で、お邪魔したお詫びに、
せめてご焼香を…」と丁寧
におっしゃっていただき、
焼香していただきました。
焼香後、「ご愁傷様ですが、
誰でも最後は死にますもん
ねえ。お孫さんに送られて
幸せですね」と、静かに控
えめな笑顔と共に、頭をさ
げられました。なんとなく
心が温くなりました。



ご供養アイテム & 仏具 あれこれ…



仏壇作り4連覇の技術を継承したい

2月に東京で開かれた「第26回全国伝統的工芸品仏壇仏具展」で、最高賞の経済産業大臣賞を受賞したのは東広島市で仏壇店を営む蓮池稔さん。4回連続の受賞で、京都や金沢などの名だたるライバルを抑えて達成した快挙だ。

国の指定を受けた伝統的工芸品「広島仏壇」は、木地、須弥壇（しゅみだん）、漆塗りなど七つの工程に分かれる。東広島市で木地師をしていた父の希望で、漆塗りや金箔押しなどの「塗師（ぬし）」になるため、広島、鹿児島で弟子入りし、7年間修業した。

「昭和の時代ですから指導は厳しくて、師匠によく殴られました。」

今回の受賞作は「総開櫓玉本造（そうびらぎ

けやきたまもくづくり」2年がかりの力作で、仏壇のルーツとされる国宝

「玉虫厨子（たまむしのずし）」の技法を取り入れ、緑色に光るタマムシの羽200枚を使った。また、漆を重ねて5年がかりで作った「堆漆（ついしつ）」を削りだした鯪（しやち）を配置するなど、贅をこらした。「上位に入ればよいと思っていたが、4連覇とは」と喜びを隠さない。

今、市販されている仏壇の多くは、海外の工場で大量生産された物だという。広島仏壇に携わる伝統工芸士は県内に9人しかおらず、高齢化が進む。自身の後継者は決まっていな

2025年3月30日
読売新聞オンライン

新たなフォーマルブランド「モレイ」

「喪服でも、今の時代の空気感に合い、なおかつ悼みのシーン以外にも着られるデザインのものがあったいいはず」デザイン・ディレクターのそんな思いから、新しい喪服「モレイ」は生まれました。格式高いヨーロッパやロイヤルファミリーのモーニングを思わせるアイテムやライン、そしていつの時代にも美しい佇まいを完成させるシルエットとディテールにも溶け込むディテール。その両方をかねそなえた正統派のモード感によって、「美しく悼む」姿を実現します。



2024年2月27日
PR TIMES
(Diamonds Studio)

線香メーカー

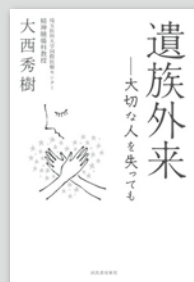
線香製造押し出し機。耐久性に優れた軽量でコンパクトな合金製のポータブルハンドツール。使いやすいデザインで、初心者にも適しています。線香作りに必要な粘性の高い材料は押出すのにもかなりの力が必要ですが、T型ハンドルを回すだけなので女性でも楽に押し出し形成でき、DIY感覚で好みの香りと色のオリジナルお線香を作ることができます。お手入れ簡単で、太さもお線香として最適な直径2ミリサイズです。



Amazon

新刊！ 葬儀関連書籍

新刊の売れ筋ランキングから仕事に役立つ書籍2冊をご紹介します。

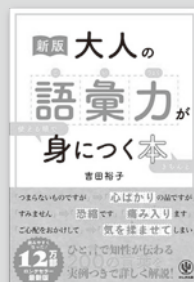


【遺族外来 - 大切な人を失っても】

著者／大西秀樹

出版／河出書房新社

この本には遺族外来に來る方々のエピソードがつづられている。若くしてお嬢さんをがんでなくされた方、病室でやさしかったご主人をノートに書き留める方、遺族となった母親を支えるお子さんなど、残された側の方々の視点で描かれている。「患者さんは、新しい世界に適応しながら生きていくことができる」著者のそうした思いに、いつの間にか背中を押されていることを感じる。



【大人の語彙力が身につく本】

出版／かんき出版

語彙力のある人や、話していて知性を感じる人は、適切な文脈で豊富な言葉を使いこなします。本書では、言葉の意味だけでなく、「使用シーン」「成り立ち」「強さ、重み」「ニュアンス」といった基本知識に加え、知性あふれる言葉を日常で使いこなすための解説をつけました。普段の会話はもちろん、仕事でのやりとり、メールや手紙、お詫びするときなど、あらゆる場面です使える語彙力が身につきます。

今日は 何の日？

5月(皐月・May)

1日(1851年)

第1回万国博覧会が開幕

ロンドンで世界初の万国博覧会が開幕。ヴィクトリア女王が開会宣言をする。40カ国が参加。

2日(1952年)

ジェット旅客機「コメット」就航

イギリスで世界初のジェット旅客機「コメット」が就航。初年度だけで3万人が搭乗する人気を博す。

3日(1947年)

「日本国憲法」施行

国民主権、基本的人権の尊重、象徴天皇制、戦争の放棄と戦力の不保持などが定められている。

4日(1936年)

プロ野球初の本塁打

阪神タイガースの藤井勇が、日本プロ野球の公式戦で初めての本塁打を記録する。

5日(2012年)

原発の稼働基数がゼロに

北海道の泊原子力発電所の3号機が発電を停止。日本国内の原子力発電所の稼働基数がゼロに。

6日(2005年)

セ・パ交流戦開幕

日本のプロ野球で初のセ・パ交流戦が開幕。初の優勝チームは千葉ロッテマリーンズ。

7日(1888年)

日本発の博士号が授与

植物学者の伊藤圭介、数学者の菊池大麓、物理学者の山川健次郎ら25人に授与される。

8日(1987年)

「サラダ記念日」が出版

俵万智の第1歌集で、280万部のベストセラーとなり、新しい現代短歌の先駆けとなる。

9日(1929年)

日本発のトーキー映画が公開

新宿の「武蔵野館」で日本初のトーキー映画が公開。アメリカの短編映画が上映される。

10日(1988年)

瀬戸大橋が開通

本州と四国を結ぶ橋「瀬戸大橋」が開通。道路と鉄道の併用橋としては世界最大。

11日(1970年)

エベレストに日本人初登頂

登山家の植村直己が松浦輝夫と共にエベレスト登頂に成功。日本人初の登頂者となる。

12日(1964年)

テレビ東京が開局

東京12チャンネル(現テレビ東京)が開局。当初は民放ながら広告を流さない放送局であった。

13日(1972年)

千日デパート火災発生

大阪の千日デパートで起きた火災で、死者は118名。日本のビル火災史上最悪の大惨事。

14日(2007年)

「国民投票法」が成立

日本国憲法改正の手続きを定める「国民投票法」が成立。2010年5月18日に施行された。

15日(1972年)

沖縄が日本に返還

沖縄の施政権がアメリカから日本に返還される。これにより人口95万人の「沖縄県」が発足。

16日(1689年)

松尾芭蕉が「奥の細道」の旅へ

松尾芭蕉が「奥の細道」の旅へ旅立った。それにちなんで「旅の日」と制定されている。

17日(1985年)

「男女雇用機会均等法」が成立

女性差別撤廃条約批准に向けて制定された「男女雇用機会均等法」が可決成立する。

18日(1964年)

コインロッカー初登場

東京・新宿駅東口に新宿民衆ビル「新宿駅ビル」が完成。コインロッカーが初登場。

19日(1952年)

白井義男が世界チャンピオンに

ボクシングの白井義男がダット・マリノに判定勝ち。日本初の世界フライ級チャンピオンに。

20日(1941年)

東京湾が開港

東京湾が大型船が入港可能な外国貿易港として開港。都はこの日を「東京湾開港記念日」に。

21日(1934年)

渋谷駅前に忠犬ハチ公像建立

東京・渋谷駅前に忠犬ハチ公像が建立された。モデルとなったハチ公も除幕式に列席した。

22日(1884年)

「自由の女神」が完成

フランス・パリで「自由の女神像」が完成。翌年、像は214個に分解され米国・ニューヨークへ。

23日(1980年)

「影武者」がグランプリ受賞

第23回カンヌ国際映画祭で、黒沢明監督の「影武者」がグランプリを受賞。主演は中代達矢。

24日(1903年)

日本発のゴルフ場がオープン

「神戸ゴルフ倶楽部」がオープン。イギリス人貿易商A.H.グルームによって六甲山に造られる。

25日(1889年)

日本発の食堂車が登場

山陽鉄道の京都～三田尻(現・防府)間の急行列車に日本初の食堂車が登場。メニューは洋食のみ。

26日(2011年)

「世界の記憶」に日本で初登録

ユネスコの歴史的記録遺産をデジタル技術で保存する「世界の記憶」に山本作兵衛の作品が登録。

27日(1937年)

サンフランシスコの金門橋完成

アメリカ西海岸のサンフランシスコの金門橋(ゴールデンゲート・ブリッジ)が完成する。

28日(1967年)

ヨットで世界一周に成功

イギリスの海洋冒険家チェスターがヨットで世界一周し、イギリスのプリマス湾に戻る。

29日(1928年)

日本発の電気機関車誕生

鉄道省が民間と共同開発した日本初の国産電気自動車の試運転が行われる。

30日(1966年)

「巨人の星」が連載開始

「週刊少年マガジン」で「巨人の星」の連載が始まる。TVアニメ化もされスポ根ブームに。

31日(1891年)

シベリア鉄道の起工式

ロシアのモスクワからシベリア地帯を横断してウラジオストクに至る世界最長の鉄道。

